

STT072-P14

会場:コンベンションホール

時間: 5月27日17:15-18:45

## ALOS/PALSARデータの多偏波干渉SAR解析による土地被覆分類と変化抽出

### Monitoring Land-cover and Its Changes by ALOS/PALSAR Polarimetric Interferometry

大木 真人<sup>1\*</sup>, 島田 政信<sup>1</sup>

Masato Ohki<sup>1\*</sup>, Masanobu Shimada<sup>1</sup>

<sup>1</sup>宇宙航空研究開発機構

<sup>1</sup>Japan Aerospace Exploration Agency

世界初の多偏波SAR観測が可能なALOS/PALSARデータを用い、ポラリメトリ（多偏波SAR解析）、ポラリメトリック・インターフェロメトリ（多偏波干渉SAR解析）を用いた土地被覆の把握の手法を検討した。土地被覆分類においては同じ分類法を使った場合、多偏波SAR解析のみによるものより、より多くの情報を用いる多偏波干渉SAR解析による土地被覆分類の方が精度が向上した。特に森林、水面、市街地の抽出で大きな改善効果が見られた。PALSARの干渉SAR解析は2時期の観測の干渉のため、土地被覆の変化抽出にも有効であると思われる。そこで農作地の変化を利用した変化抽出も試み、良好な結果を得ている。

キーワード:合成開口レーダ, ALOS/PALSAR,土地被覆分類,変化抽出,多偏波SAR,干渉SAR

Keywords: SAR, ALOS/PALSAR, land-cover classification, change detection, polarimetry, polarimetric interferometry